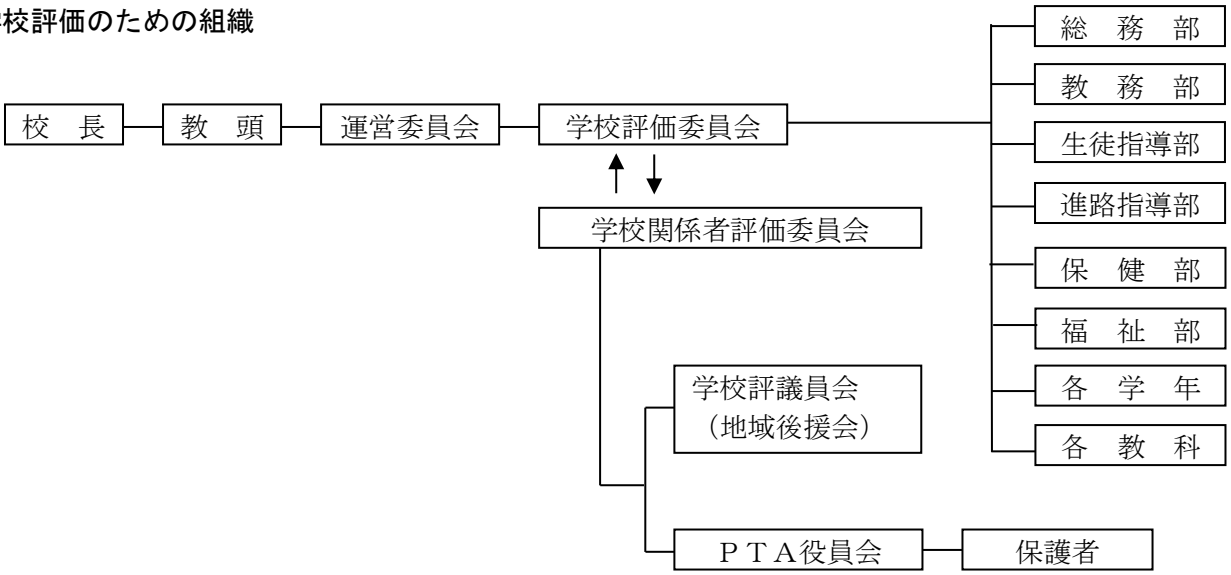
学校評価

(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

月	項　　目	内　　容
4	・学校運営方針の発表 ・重点目標の設定	・校長による学校運営方針の発表に基づく各分掌等の重点目標と具体的取組等の設定
5	・保護者への説明（ＰＴＡ総会） ・ホームページへの評価結果の公表	・新年度の学校評価の重点目標の説明と公表 ・前年度の自己評価及び学校関係者評価結果の説明と公表
9	・第１次評価の実施	・１学期までの取組とその改善策の自己評価
10	・外部評価・中間評価の実施	・地域後援会役員会（学校評議員会）、学校関係者評価委員会による中間評価の実施と学校評価委員会への報告
12	・第２次評価の実施	・２学期までの取組とその改善策の自己評価
2	・年度末評価の実施	・年度末評価の実施と課題に関する自己評価
3	・学校関係者評価委員会の開催	・自己評価・内部評価及び外部評価の実施と評価結果のまとめ

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①　基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ②　基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ③　学校危機対応への取組と交通安全指導を推進する。 ④　清掃を徹底し学習環境を整えるとともに、校内美化を推進する。 ⑤　教員の働き方改革を推進する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・式典・行事の実施内容・日程等の検討 ・中学生体験入学の見直し	・式典や行事の実施内容、日程等を見直す。 ・状況に応じて、体育館での全体会や各教室での実施を検討する。	・実施内容の改善・改良を図り、それぞれの式典・行事の目的に合った形態での実施を目指す。 ・熱中症及対策を最優先にして、実施計画を立案する。
	・広報活動の推進	・はまぎく、ホームページを有効に活用する。	・ホームページについては、外部だけでなく、在校生や保護者にも各種の情報を提供するツールとしての認知度を高めていく。
	・ＰＴＡ活動の再検討	・学校行事の日程変更に伴い、よりＰＴＡの活動内容も見直しを進めていく。	・これまでの活動内容を変更し、今後も継続して実施できる内容を検討する。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成	・基礎学力の定着 ・総合的な探究の時間等を利用した探究的活動とキャリア教育の充実	・生徒の主体性を育むことで、能動的に生徒に基礎・基本を習熟させる。また、家庭学習時間の向上を図っていく。 ・「総合的な探究の時間」を中心にキャリア教育を核にした探究的活動を充実させ、主体的な学習態度を育成する。
	・新学習指導要領を踏まえた評価方法の充実	・観点別学習状況の評価システムの実践とPDCAサイクルを意識した取組の改善 ・評価方法などの情報を共有し、改善を図る	・各教科で、定期考査に代わる評価方法を実施しながらPDCAサイクルを行いその内容を精選することで、観点別学習状況の評価システムの改善を図る。 ・教科会や研修を充実させて、研究の共有を促す。
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・読書活動の充実	・広報活動（学級文庫設置を含む）を通じて、生徒の図書館利用の拡大を図る。 ・朝の読書の時間を通して読書習慣の定着を図る。
生徒指導 交通安全 (生徒指導部)	・基本的生活習慣の確立	・身だしなみ指導の徹底。欠席、遅刻者数の減少と、挨拶指導の充実	・全職員一致体制で教育活動全体を通して指導する。 ・地域、保護者、学年等との連携を図るとともに、教科指導や進路指導の場面においても、身だしなみ指導の徹底と挨拶指導を充実させる。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・交通安全・モラル・マナーに関して生徒の意識が一層高まるよう、外部講師による講話などさまざまな場面で指導する。
ＬＴ 生徒会･部活動 ボランティア (生徒指導部)	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・ガイドラインに則り、生徒にとって有意義な部活動になるよう、学校全体で連携を取り、各部活動の実態の把握、改善を促す。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やＨＲ活動における生徒の活動の充実	・学校行事において、生徒の主体的な参加を促し、各学校行事を生徒の手で成功させる。 ・ＨＲ役員の活動の場面を増やす。
	・ボランティア活動の一層の推進	・ボランティア活動の周知	・校内のボランティアのみでなく、校外のボランティアにも積極的に参加できるよう、学年を通じて呼びかける。
進学･就職指導 キャリア教育 (進路指導部)	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・進路情報を自らの意志で積極的に手に入れ、自らの判断で進路を選択させる。また、将来の生き方を考えさせる。
	・就職指導	・基本的生活習慣の定着	・仕事の場面を具体的に想定し、礼儀作法を学ばせ、実践させる。さらに、社会人として必要である目上の人に対する接し方を学ばせ実践させる。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・企業に貢献する気概を高めさせ、就職希望者全員にインターンシップを経験させることにより、勤労観・職業観を高めさせる。
保健・体育 相談 清掃・緑化 (保健部)	・健康で安全な学校生活	・相談体制の充実 ・特別支援教育の実践	・教育相談担当者会等の会議を活用して、早期の生徒情報の収集、及び教員間の情報共有に努める。 ・ＳＣ、ＳＳＷとの連携により適切な指導・支援を図る。特別な教育支援を必要とする生徒への迅速な対応を図る。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化	・美化委員会の活動を活発化させ、校内巡視等の活動を通して、校内美化に努める。 ・清掃用具の管理と補充を徹底する。
福祉 ボランティア 資格取得指導 (福祉部)	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・教員間の連携を図り、日々の教科指導を通して生徒の理解度を正確に把握し、個に応じた受験指導を行う。 ・実施時期に適した内容で特別学習を行い、国家試験受験に向けた実践力を身に付けさせる。
	・校外活動の充実	・介護技術コンテストなどへの積極的な参加 ・介護実習に向けた計画的な指導 ・特別支援学校との交流会の実施	・高校生介護技術コンテストや専門高等学校作文コンクールなどに参加し、成果が上がるよう指導する。 ・介護技術の習得ができるよう適切な指導を図る。 ・生徒主体による交流会を実施できるよう学校間の調整や計画を立てる。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
学習･進路指導 生徒指導 （学年）	・基礎的人間力の醸成（1年）	・学校生活の規律 ・清掃の徹底と学習環境の整備 ・身だしなみと言葉遣いへの意識向上	・学校のさまざまな場面で繰り返し指導 ・安心して学業・部活動に参加できる環境作り ・生徒の積極的な活動を促進
	・学校生活の充実（2年）	・基本的生活習慣の確立 ・学校の諸行事への積極的参加 ・部活動への取組強化 ・進路意識の向上	・分掌・教科等の職員間や家庭との連絡を密にし、効果的な指導をする。 ・学校の中核という意識をもたせる。 ・部活動に意欲的に参加できるよう促す。 ・自己の進路実現を意識させ、情報を提供する。
	・目標に応じた進路の実現（3年）	・進路実現を目指す中で、自己分析をし、将来に何が必要かを考えて自ら学ぶ能力の育成及び特別学習での学力充実	・生徒が自己分析をし、自分には何が必要なのかを主体的に調べ学び考えられるように指導する。また、自らの目標に応じて特別学習や家庭学習に取り組ませる。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組 （生徒指導部）	・安心・安全な生活できる学校づくり	・いじめの未然防止 ・いじめの早期発見 ・いじめに対する適切な対応	・情報モラルや人権の講話を実施して、啓発活動に努める。 ・個人面談やアンケートを実施して、早期発見に努める。 ・教職員が共通理解をもち、組織的に対応する。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止 （管理職）	・教職員が健康的に教育活動ができる学校づくり	・業務の適正化と年次休暇等の計画的な使用促進	・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに、ストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面接指導を通じて教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。
その他 （管理職） （関係分掌） （各種委員会）	・地域から信頼され愛される学校づくり	・地域から愛される学校づくり ・地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 ・部活動やボランティア活動を通した地域貢献	・生徒に対して、地域行事等に積極的に参加できる環境を整える。校内行事の立案には、できるだけ地域貢献の視点も含めるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症対策をしながら、教育活動の一層の活性化を図る。
	・信頼される教員の育成	・生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 ・厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 ・指導力向上に資する取組の継続的実施	・本校生徒に適した指導方法を、全教職員で共有するための情報交換会や、早期に生徒の変化に気づき、適切に対応できる指導力の向上を図るための研修を積極的に行う。 ・生徒とのコミュニケーションの図り方や、生徒理解に繋げるための研修を継続的に行っていく。 ・生徒に「わかった」、「できた」と達成感をもたせられる教員を育成するための研修を定期的に行う。
	・危機管理体制の確立	・不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化	・常に教員としての自覚をもち、自己点検や相互点検に努める。 ・分掌会や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間の連携強化を図り、互いに指摘して支援しあえる環境を整える。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	・家庭や地域と積極的に連携し、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・学習環境を整えて、安心で安全な学校生活を提供できたか。		

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の重点目標	① 基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する精神と豊かな情操を養う。 ② 基礎学力の定着を図り、自己の進路実現のための力を身に付けさせる。 ③ 自然災害等への対応の取組と交通安全指導を推進する。 ④ 清掃を徹底し学習環境を整えるとともに、校内美化を推進する。 ⑤ 教員の働き方改革を推進する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
行事・儀式 防災・校史 地域連携 体験入学 学校評価 (総務部)	・式典・行事の実施内容・日程等の検討 ・中学生体験入学の見直し	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を第一に、式典・行事の実施内容・日程等を見直す。 ・体育館での全体会を中止し、各教室での実施方法を検討する。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密になる状況を避けながらもなるべく以前の形態で実施できるよう工夫した。 ・第１回中学生体験入学は、昨年度に引き続き、実施形態を大きく変更し、各教室で実施した。熱中症対策も兼ねた変更であったが、大きな混乱は見られなかった。
	・広報活動の推進	・はまぎく、ホームページを有効に活用する。	・はまぎくを定期的に発行することができた。 ・行事ごとにホームページを更新し、外部に学校行事の様子を発信することができた。
	・ＰＴＡ活動の再検討	・学校行事の日程変更に伴い、よりＰＴＡの活動内容も見直しを進めていく。	・コロナ渦でも実施可能な活動内容を模索し、感染拡大防止に配慮しながら実施することができた。今後も感染状況を見極めながら、実施可能な活動について模索していきたい。
学習指導 現職研修 図書指導 (教務部)	・基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成	・基礎学力の定着 ・総合的な探究の時間等を利用したキャリア教育の充実	・基礎学力の定着を図るためには、更なる工夫が必要となる。「主体的・対話的で深い学び」など、生徒が主体的に学習に取り組めるように改善していきたい。 ・総合的な探究の時間について、来年度に向けて「あいちラーニング推進委員会」にて協議を重ねた。キャリア教育と探究活動の充実を目標に細部まで計画を作り上げた。来年度から新たな取組が始まる中で更なる精選を行っていきたい。
	・新学習指導要領実施を見据えた準備	・観点別学習状況の評価システムの実践とPDCAサイクルを意識した取組の改善 ・評価方法などの情報を共有し、改善を図る.	・「あいちラーニング推進委員会」を中心にして、学校全体で観点別学習状況の評価を円滑に行うことができた。PDCAサイクルについては改善する余地がまだある。次年度に改善していきたい。 ・「主体的に学習に取り組む態度」の評価などで成果を出すことができた。適切な学習と評価を行うために、今後も教員の研修の場を設けていきたい。
	・図書館利用生徒数の増加	・図書館活動の活性化 ・読書活動の充実	・窓の開放やついたての設置など新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、図書館を開館することができた。委員会活動も通常に戻り、図書の紹介等をすることにより、貸出冊数も増やすことができた。図書室にインターネットも整備されたので、来年度以降、更なる利用生徒増に向けて活動していきたい。 ・朝の読書の時間は次年度以降も継続していきたい。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒指導 交通安全 （生徒指導部）	・基本的生活習慣の確立	・身だしなみ指導の徹底。欠席、遅刻者数の減少と、挨拶指導の充実	・身だしなみ指導は、ブレザーの前ボタンを留めることとスカート丈の長さを徹底することで昨年度よりさらなる改善ができた。次年度は、これらを徹底して継続・維持していきたい。 ・遅刻指導に関しては、段階的な指導を視野に入れて進めることによって遅刻の防止につながった。 ・挨拶指導を通じて、挨拶ができる生徒がほとんどである。次年度も継続的に取り組んでいきたい。
	・安全、安心が確保された学校生活の推進	・交通マナー、法規の遵守指導の徹底	・自転車事故は数件あったが大事には至らず、前年度よりも件数は減少した。交通安全への意識がさらに高まるよう指導していきたい。また、ヘルメット着用は、スポーツタイプの自転車に対してだけでなく自転車通学の全生徒に対して声掛けをしていきたい。
ＬＴ 生徒会･部活動 ボランティア （生徒指導部）	・部活動の活性化	・活動環境の整備	・ごみコンテナの活用により、各部の不用品の処分が進んだのは環境上よいことである。 ・感染症が落ち着く中で、部活動が通常に戻りつつある。次年度は、具体的な活性化の取組を行う必要がある。
	・生徒会活動の活性化	・学校行事やＨＲ活動における生徒の活動の充実	・生徒会執行部が中心となり、学校行事を通じてＨＲ活動に大きな影響を及ぼすことができた。次年度は、活動を拡大していきたい。
	・ボランティア活動の一層の推進	・ボランティア活動の周知	・通学路清掃ボランティアでは、全校生徒の半数を超える参加があり、道具等が足りなくなるほどであった。集団の一員として奉仕をすることの体験を通して、ボランティア精神を涵養したい。
進学･就職指導 キャリア教育 （進路指導部）	・進路指導	・積極的な調べ学習の推進	・タカコウタイムや個人面談を通じて、進路情報を自らの意で積極的に調べさせることができた。 ・オープンキャンパスや企業見学を経験させることによって、多角的な判断をさせることができた。
	・就職指導	・基本的生活習慣の定着	・授業の開始の挨拶では、正しい行動をとらせることができた。１年間やり通すことによって、社会人として必要であるコミュニケーション方法を自ら考えさせ、目上の大人に対する接し方や言葉遣いを学ばせることができた。
	・キャリア教育の推進	・インターンシップに対する意識の向上	・第１学年では、普通科就職希望者には企業説明会を、進学希望者には進路説明会を企画することができ、自らの進路に対する意識を高めることができた。 ・第２学年では、就職希望者全員にインターンシップを経験させることができた。 ・第２学年において、３日にわたり企業説明会を企画し、勤労観・職業観を高めさせた。
保健・体育 相談 清掃・緑化 （保健部）	・健康で安全な学校生活	・相談体制の充実 ・特別支援教育の実践	・教育相談では、スクールカウンセラーからのアドバイスや医療機関との連携を図り、適切なアセスメントのもとで、効果的な生徒の指導・支援にあたることができた。 ・通級による指導では、各担当者が個別の指導計画を作成し、個々に合った自立活動を展開することができた。今後は、通級による指導の受講生徒の進路実現を目標とし、進路指導部と協力しながら特別支援教育の充実を図っていきたい。
	・豊かな情操を育む環境美化活動の推進	・校内の清掃活動の活発化	・通常清掃において、清掃箇所を増やし、学校全体の美化に努めた。 ・用務員・園芸部の協力を受け、正門周辺、中庭の花壇の花を多く咲かせることができた。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
福祉 ボランティア 資格取得指導 （福祉部）	・介護福祉士国家試験対策の充実	・教科指導の充実 ・特別学習の実施	・各科目で、知識の定着が図れるように個々に合わせ、工夫して指導をした。 ・国家試験に向けて、福祉科教員で担当生徒をもち、個別指導を行った。特別学習では、各生徒の力に合わせた計画を提示し、国家試験まで意欲をもたせて学習させることができた。
	・校外活動の充実と情報発信	・介護技術コンテストなどへの積極的な参加 ・介護実習の指導 ・情報発信	・コンテスト代替大会である福祉研究アワードの動画審査に応募し、優良賞を受賞した。 ・コロナ禍での介護実習のため、中止・延期・施設変更等をその都度、個別に対応して実施した。感染予防対策が不足することがあり、今後の課題としたい。 ・中学生に向けて福祉科紹介ポスターを作成した。本校の資格などの強みをアピールしていきたい。
学習･進路指導 生徒指導 （学年）	・基礎的人間力の醸成(1年)	・学校生活の規律 ・清掃の徹底と学習環境の整備 ・身だしなみと言葉遣いへの意識向上	・時間を守ったり、前向きに授業に取り組んだりとメリハリのある生活を送ることができた。 ・少しずつ挨拶が消極的になっているため、次年度の課題としたい。
	・学校生活の充実(2年)	・基本的生活習慣の確立 ・学校の諸行事への積極的参加 ・部活動への取組強化 ・進路意識の向上	・クラスでの指導を中心とした細かな指導を継続し、各種の段階的指導も行ったことで、多くの生徒が基本的生活や勉学において適切な習慣を確立した。 ・たかこう祭をはじめとする様々な行事が縮小前の規模に戻り、生徒達も積極的に取り組むことができた。 ・個人面談等や進学説明会・企業説明会を設定し、進路実現への意識を向上させることができた。
	・目標に応じた進路の実現(3年)	・進路実現を目指す中で、自己分析をし、将来に何が必要かを考えて自ら学ぶ学習及び特別学習での学力充実	・「進路タイム」や「タカコウタイム」の内容を精選し、進路説明会等の企画を実施するなど、生徒が自主的に進路選択できるよう情報提供を充実した。生徒が、主体的に自己分析や自己理解をしていく上で、あらゆる学びを通し職業観や勤労観を培い、自分の将来像を描けるように指導することができた。入学当初の早い段階から生徒へ進路選択および進路実現への意識付けが必要である。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組 （生徒指導部）	・安心・安全委生活できる学校づくり	・いじめの未然防止 ・いじめの早期発見 ・いじめに対する適切な対応	・面接やアンケートなどを実施し、いじめの早期発見と抑止に努めた。いじめの認知も積極的に行った。 ・生徒からの情報を共有し、学校全体として組織的に対応することができた。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止 （管理職）	・教職員が健康的に教育活動ができる学校づくり	・業務の適正化と年次休暇の計画的な使用促進	・毎月報告される「在校時間等の状況記録」の結果を活用し、勤務の適正化を図るように職員に声掛けするよう努めた結果、長時間勤務者の数が昨年度比で全体として減少した。 ・今年度は、一部の教員を除いて長時間労働は減少し、休暇の取得も促進されたが、今後さらにワークライフバランスを意識するよう、全職員に働きかけたい。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
その他 （管理職） （関係分掌） （各種委員会）	・地域から信頼され愛される学校づくり	・地域から愛される学校づくり ・地域との積極的な連携強化を目指した教育活動の推進 ・部活動の活性化による地域貢献	・新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、生徒は特に部活動やボランティア活動等を通して地域行事等に積極的に参加することができた。 ・介護実習やインターンシップ等で地域の力を借りながら、本校の教育活動を充実させることができた。
	・信頼される教員の育成	・生徒の指導や観察力の向上を目指した体制の構築と整備 ・厳しさの中にも愛情あふれる指導のできる教員の育成 ・指導力向上に資する取組の継続的実施	・本校の生徒に適した指導方法を、経験の浅い教員が経験豊富な教員から受け継げるように、教員間のコミュニケーションを重視し、風通しの良い職場環境づくりを行った。 ・生徒とのコミュニケーションの図り方や、生徒理解に繋げるための研修を今後も充実させたい。 ・生徒が達成感をもつことができる授業を展開できる教員を育成するため、授業・教科に関する研修を今後も定期的に行っていきたい
	・危機管理体制の確立	・不祥事防止のための意識の向上と、教員相互の自浄作用機能の強化	・不祥事防止に関する研修等を通して、教職員は常に教員公務員としての自覚をもち、自己点検や相互点検に努めた。今後もさらに意識の向上を図っていきたい。 ・分掌会や学年会等での人間関係づくりを積極的に推進し、教員間のコミュニケーションを重視することにより、教員どうしの連携強化を図り、互いに指摘して支援しあえる環境を整えていきたい。
総　合　評　価		・地域に愛されるとともに、地域に貢献できる教育活動を推進するため、家庭や地域との連携を大切にした。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、他者と協働しつつ自己の進路実現のために努力する力を身につけさせる教育活動を実施することができた。 ・学習環境を整備し、安心で安全な学校生活を提供することができた。	

イ　学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	・家庭や地域との連携を密にし、地域に愛され貢献できる教育活動を展開することができたか。 ・自他を尊重する精神と豊かな情操を育み、自己の進路実現のための力を身に付けさせる教育活動が実施できたか。 ・学習環境を整え、安心、安全な学校生活を提供できたか。
自己評価結果について	・今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら学校行事や生徒会活動・部活動に取り組んだ。感染防止のガイドラインに従いながらも、基本的にはコロナ禍前の年間行事に戻って諸活動を行うことができた。そのため、前年度よりも、学校生活全体において活性化が見られた。特に、地域活動部ＳＢＰ班の活動や各種ボランティア活動への参加・貢献などにより、学校と地域が協同・連携して諸行事に取り組むことができ、本校の良さを校内外にＰＲできた。 ・今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、福祉科生徒による介護実習等に少なからず影響があったが、本校の福祉教育の質の高さを地域に向けて発信することができた。
今後の改善方策について	・校内及び地域において挨拶を積極的に行う習慣を身に付けたり、公共の場所等でのマナーや交通ルールを守ったりするなど、生徒の規範意識を高め、社会の一員であることを認識させる教育活動を学校全体で取り組みたい。 ・ホームページや中学校訪問等により中学校や地域への情報発信を強化し、地域から信頼され愛される学校を目指す。特に、福祉科についての情報発信を今後も積極的に行

	っていきたい。 ・今後も校内外の様々な活動を通して、生徒の達成感や充実感、自己肯定感を高める指導を地道に行っていきたい。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	Q1 最近の本校に関することで、印象的なこと ・学校を訪問した際に、生徒が元気にあいさつをしてくれました。 ・体育大会での衣装がよかった。 ・体育大会での明るく元気よく、一生懸命に取り組む姿が印象に残っています。 ・体育大会での生徒の明るい表情がとても印象的でした。 ・体育大会で、教師と生徒の関係がとてもフレンドリーで、競技等を一緒に楽しんでいる様子が見られた。 ・体育大会では、校長先生をはじめ各先生方が活発に活動する姿が素晴らしかった。 ・体育大会が生徒主体で運営されていたことがよかった。 ・SBP 班の活動が活発である。 ・SBP 班が積極的に地域と連携している姿に感動しています。 ・清掃ボランティアにたくさんの生徒が参加していてすばらしいと思った。 ・毎年求人でお世話になっています。素直な子が多く、会社に貢献していただいています。 ・先生方が生徒の相談にのってくれている。生徒同士、先生と生徒との関係が良好。 ・三河高浜駅周辺での通学マナーがよいと思います。 ・歩きスマホをしている生徒が散見されます。 ・自転車のマナー向上。スマホ操作、スピードの出しすぎ等、危険な場面が見られる。 ・登校中のあいさつがよかったです。 ・生徒のポテンシャルを引き出す教育の大切さを、国立大学合格者の出現で再認識しました。 ・稗田川駅伝に出場している高浜高校生がたくさんおり、その中に自校卒業生がいました。地域行事に積極的に参加している姿を見てうれしく思いました。 ・PTA 活動が参加しやすくてよい。 ・市議会だより「ぴいぷる」の表紙を飾ったこと。 Q2 今後更に「地域から信頼される学校」「開かれた学校」となるために、本校が留意すべき点 ・積極的な情報発信を今後も続けてほしい。 ・通学時、学校周辺で地域の方へのあいさつ。 ・登下校時の生徒のマナー向上への働きかけ。 ・地域行事への参加、地域と学校の交流等、地域との更なる連携の強化。 ・高浜高校の取組や生徒のがんばりを積極的に地域等に発信していくことが必要だと思います。 ・進路指導、就職指導の充実とそれにかかわる日々の学習活動の充実。 ・重点目標の一つに掲げられている「ボランティア活動の一層の推進」に期待しています。 ・いざというときに地域に頼られる高校生であってほしいと願っています。 ・地域で若い力を発揮する場があると注目され、自己肯定感が高まると思います。 ・特色選抜をうまく活用して、入りたい生徒をしっかりと選抜することが必要だと思います。 Q3 本校の教育活動全般についての御意見 ・３年間を見通した学年の成長を支える活動が必要。 ・生徒が生き生きと学べる学習環境の整備。 ・子どもが学校へ行きたくなるような教育活動の実践。 ・課外学習を今後も継続してほしい。 ・学習課題に、研究的要素を盛り込んでほしい。 ・子どもに合わせた学習指導や通級制度の有効活用。 ・教育相談の更なる充実。 ・部活動の活性化と指導の充実。 ・進学にせよ、就職にせよ、卒業生たちは高浜高校で力をつけて、活力をもってそれぞれの道を歩んでいます。今の高浜高校をこれからもつくっていただけたら幸いです。 ・介護福祉士の合格率の向上。 ・国家資格取得に向けた学習や対策の充実。

	・日々生徒さんの指導ありがとうございます。先生方の日頃の努力に感謝します。 ・地域の子どもたちの学び直しの場としても期待しています。 ・中高の連携により、地元の子どもたちをしっかりと育てたいです。 ・中学校として、卒業生を育てていただいており感謝しています。 ・中高連携は少しずつ進んでいる印象です。これからも協同、協力できることを探していきたいです。 ・開かれた学校を目指して努力できていると思います。 ・専門科目や実習について相談できる窓口があるとよい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	・構成…学校評議員４名（ＰＴＡ会長を含む）、地域後援会役員、ＰＴＡ役員等 ・評価時期…３月初旬

(5) 経営管理上の問題点等

ア　河川水位上昇時のグラウンド排水困難

イ　下水道接続